

一般質問



池田 久男 議員

問 平成31年度の予算規模は

答 大きく上回る見込み

本町の財政状況は、厳しい状況である。

平成31年度の予算編成を問う。

企業の設備投資、雇用の改善は。

〔総務部長〕 設備投資は増加、雇用は改善の傾向。

〔問〕 予算の規模は、平成30年度を下回らないか。

〔答〕 エアコン整備を始め大型事業を予定。平成30年度を大きく上回る見込み。

〔問〕 年々増加する扶助費の状況、課題は。

〔答〕 〔健康福祉部長〕 福祉対象者は増加。

課題は、各種サービスの受け入れ先など。

〔問〕 現在の借金残高、返済方法の計画は。

〔答〕 〔総務部長〕 残高は45億6000万円。返済は毎年5億円程度に抑えたい。

〔問〕 基金残高と適正額は。

〔答〕 一般会計基金残高は、総額で37億1200万円。うち財政調整基金25億8400万円、適正額は30億円を目安。

〔問〕 公共施設の廃止、統合と財源確保は。

〔答〕 財政経営と施設維持の両立実現方策は検討課題。財源は事業計画作成し、基金創設なども検討。

問 自然災害の発生が多くなる対策は

答 必要上対策を安全な整備を検討

平成30年は大雨、台風、土砂災害、熱中症などにより日本各地で、被害が発生



整備が待たれる広田川と遊水池

している。本町の対策を問う。

〔問〕 熱中症の発症、搬送件数は。

〔答〕 〔消防長〕 救急搬送は過去最多の39件。

〔教育部長〕 小中学生3人。欠席早退者約30人。保健室等休養者約130人。

〔問〕 大雨、台風、土砂災害の被害想定は。

〔答〕 〔総務部長〕 広田川の氾濫を大きなリスクと捉え警戒。早期対応と災害情報の早期発信に努める。

〔問〕 水道の基幹管路耐震化率は。

〔答〕 〔環境経済部長〕 口径200mm以上の送水管路は、20.4%。

〔問〕 仮設住宅用地の計画は。

〔答〕 〔建設部長〕 応急仮設住宅建設は県が行う。候補地は、久保田農村公園始め13カ所。

〔問〕 被災者の健康、生活の支援は。

〔答〕 〔健康福祉部長〕 発災時に救護活動を実施。1週間以内めに健康状態確認・相談体制を整え、支援していく。

〔問〕 多発する自然災害の対策は。

〔答〕 〔町長〕 現状把握し、安全対策上必要な整備を検討。

一般質問



丸山 千代子 議員

インフルエンザ予防接種助成を

今後とも検討していく



10ヵ月健診の様子（保健センター）

予防接種と産後健診の実施のため以下を問う。

問 子どものインフルエンザの大流行は、体調管理や学級閉鎖など親の負担も大きい。県下の助成状況は。

答（健康福祉部長） 一部助成は安城、東海、大府、知多、北名古屋、あま、津島の各市と蟹江町、飛島、豊根の両村。無料は、設楽、東栄の両町。

問 インフルエンザはワクチンで軽減できる。全額助成の実施を。

答 今後、ワクチンの安全性、他市町村の対応を確認し検討していく。

問 高齢者肺炎球菌任意接種事業が今年度で終了予定である。未接種者数と引き続きの実施を。

答 平成30年11月20日現在、高齢者は8929人。接種記録のない人が4155人で46・5%。

問 次年度以降は、国の動向を踏まえ検討していく。産後健診未実施は、県下で幸田、岡崎、津島だけ。出産後間もない時期の母親のからだと心の健康状態をケアするため、産後健診の実施を。

答 医師会、医療機関と調整を図り、実施回数はい回で考えていく。産後ケア事業も、同時に行なっていく。

問 福祉タクシー助成で足の確保を

答 真摯に取り組みを始める

名鉄バス路線の廃止で、通勤・通学、病院通いなど交通が不便になった。公共交通としてバス事業の見直しなど住民の足を確保するため以下を問う。
問 コミュニティバス路線の拡充で、JR岡崎駅までの乗り入れを。

答（企画部長） 駅勢圏の違う部分で、料金の問題、バス停の関係で難しい状況である。

問 通勤・通学時間帯の運行を。
答 都市交通マスタープランの見直しをする中で、対象者を誰にするか、今後検討していく。

問 高齢になつて免許返納や運転ができなくなった高齢者に「福祉タクシー助成」の実施を。
答 交通政策と福祉政策の連携、利用者負担と公費負担等役割分担しながら検討していく。

問 県下では19市町が高齢者福祉タクシー助成している。足の確保として実施を。
答（町長） 今後、手法も対象者を絞り込み、真摯に取り組みを始めていきたい。

その他の質問

問 国保税の引き下げ・軽減を。
答 引き続き課題であると考える。